

柏の子どもたちを

地域で見守り、育てる



リニューしたばかりの会場はソーシャルディスタンスも万全

【イア養成講座(第一回目)】が、教育福祉会館2階多世代交流スペース1、2で開催された。

子育て支援の現場の様子を聞き、読み聞かせ等の実践を通して子育て家庭にどんな支援ができるのかを考える講座で、講師には認定こども園長もみこも園理事長の戸巻聖さん、子育て支援センター担当の宮川麻紀さんが登壇。

戸巻さんは「核家族化や少子高齢化で人と人の関係が希薄になっていく現代で、子育て支援のあり方は難しい。子育てには伝承が必要だが、インターネットには情報が溢れすぎています。支援者は『聞く、共感する、見守る、褒める』を大切に『子育てに正解はないよ』と伝えていくことが大事」と話

戸巻さんは「核家族化や少子高齢化で人と人の関係が希薄になっていく現代で、子育て支援のあり方は難しい。子育てには伝承が必要だが、インターネットには情報が溢れすぎています。支援者は『聞く、共感する、見守る、褒める』を大切に『子育てに正解はないよ』と伝えていくことが大事」と話

戸巻さんは「核家族化や少子高齢化で人と人の関係が希薄になっていく現代で、子育て支援のあり方は難しい。子育てには伝承が必要だが、インターネットには情報が溢れすぎています。支援者は『聞く、共感する、見守る、褒める』を大切に『子育てに正解はないよ』と伝えていくことが大事」と話



教育福祉会館2階にある親子スペースはゆったりとした広さ

講座に参加していた柏市のOさん(60代)は「自分が子育てをしていた頃とは状況が様変わりしていて、時代の流れを感じました。とても勉強になりました」と話した。

当フォーラム実行委員長のひなたなほさんは「今年も基盤づくりに力を入れていきます。今までなかったホームページを作ったので、これから大きく発展できたら」と話した。

「写真・文・松原美穂子」
「はぐはぐ☆子育て応援フォーラム柏オンライン開催」
日時：2月28日(日)10時～16時
参加費：無料
問 04・7168・1034(はぐはぐ☆子育て応援フォーラム実行委員会事務局)

柏レイソル TOPチーム 新加入選手インタビュー



2月3日に行われたオンライン新体制発表会 ©KASHIWA REYSOL

38 大嶽拓馬選手

自分は攻撃の部分で武器としていて、味方の選手がボールを持った時のオーバーラップだったり、後ろからのビルドアップというところを発揮できたらと思います。

同じ左利きの選手たちがライバルになってくると、お二人ともすごく能力が高くて、高い壁だとは思いますが、二人にはない武器をどうとらえていって、試合に出られるように、タイトルを取るといって、目標を定めています。

21 佐々木雅士選手

このシーズンのワクワクと、試合に絡みたいという気持ちが、凄く強い

31 イシノツカ選手

サイドは左右できません、僕の手持味の、前での突破とかドリブル、チャンスメイクといったものを、試合の中でできるだけ多

26 椎橋慧也選手

柏レイソルで、仙台で培ってきたものを表現できるように自信を持ってやっています。新加入ということで、みんな僕を分かって

29 アンジェロティ選手

少し早くチームに合流したいと思っています。柏レイソルのような状況なので、今シーズンに向けて個別トレーニングに励みながら準備をしています。

22 ドジ選手

パス、強いマークが自分のプレーの特徴で、インテンシティーが高く積極的な前線に出て攻撃参加できます。レイソルのようなビッグクラブの一員としてユニフォームを着られる機会を頂けたことを大変嬉しく思っています。

イベント詳細、予約はこちらから
「フォーラム特設サイト」

子どもの広場 ゆうび

折坂麻理江 18+280

わきまえずに話し合おう



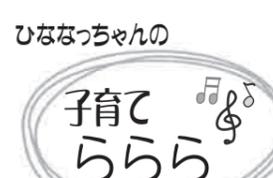
ホームページ

JOCでの森氏の女性蔑視発言問題「女性が沢山入っている理事会は時間がかかるや(組織委員)の女性にはわきまえなさい」など。女性に対する差別発言に弁解の余地はありません。

そもそも、会議というのは多数の意見を集約し、一方向性を導き出す作業です。悪戯に時間をかけて、良いという訳ではありませんが、多種多様な意見を精査することがよりよい結論を導くことになる。毎日ゆうびが開いているほうがいい。

会議に意味があるでしょうか。ゆうびには月1回「子どもミーティング」の日があります。皆で検討したいことを持ち寄り話し合います。原則多数決がないので長い時間がかかります。

子どもたちは「ぜひやりたい」「食事は今回は作らないで個包装の物を売ろう」「私は演劇やりたい」



この服じゃない!

とうとう、この日がやってきました。用意した服をみて、首を横に振ります。

何がいいの?これ?これ?これ?といくつか洋服を出して、やっと納得して服を着る...という流れ。いつかは来ると思っていたけど、こんなに早かったとは。

我が子はまだ意思疎通ができるほど喋れるわけではないので「うん うん」で話をします。

保育園に行くのに私が選んだズボンでは気に入らなかったため、ずっと「うん うん」と言っていました。

我が子はお星様(☆)の模様のズボンがとても好きで、履きたがります。その☆を伝えるために...どうしたと思いますか?

きらきら星の曲を最近覚えたので、手を降って『キラキラ』させて踊るのですが、なんと私に向かって『キラキラ』をしてきました。

「お星様のズボンがいいの?」と聞くと「うん!」と勢いよくこたえます。そればかり履いているので、とうとうお尻に穴が開いてしまいました。

もともとこのズボン、友人からのお下がりでありリユース品なのです(我が家は大量にお下がりを送ってくれる友人がいるので、ほぼリユース品!写真参照!)

仕方なく、同じ柄のズボンを西松屋さんに探しに行きました。(笑)



ひなたなほこ (ひなたなっちゃん) 千葉県柏市を中心に活動する表現教育アーティスト。自主制作のファーストシングル「柏シワ」はわずか1年で1000枚を完売し売上を柏市に寄付。